

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年12月22日

事業者名: 株式会社リパークレス

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	規格外の柿を利用した製品作りを行っている。また製造途中の副産物も活用し、付加価値をつけた新たな商品化に取り組んでいる。	⑧働きがいも経済成長も、⑫つくる責任 つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を	・規格外の柿は、主力商品である柿酢の原料として、またドライフルーツとして100%活用している ・製造副産物のもろみや種で、レトルトカレーや珈琲を商品化 ・管理が困難となった柿畑を預かり、柿の栽培を開始。さらに、間伐材を木工製品として利用している。	指標	自社柿畑の柿の廃棄率
				目標	自社ファームでの生産柿果実の廃棄率0%を継続する
社会	市内親子の収穫体験として、規格外の柿の収穫を実施している。自社のサーキュラーエコノミー実践事例を、地元小学校、高校、大学、社会人大学で講演活動を行っている。	⑪住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任 つかう責任、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	R5年度、親子収穫体験や栽培体験会の受け入れ3件 大学や経営者セミナーでの講演 2件	指標	親子収穫体験や柿生産の体験実習、規格外の柿を活用した柿酢の仕込み体験や料理セミナーなど、イベントの実施
				目標	5件以上/年
経済	アンペイドワークに対する感謝の気持ちを可視化するための、共感コミュニティコイン「ピースコイン」を導入	⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任 つかう責任	ピースコインの仕組みを基盤技術とした「HALIYO COIN」を運用開始。	指標	HALIYO COINの運用拡大にともなうユーザー数と運用コイン数
				目標	R8年度までに20ユーザー、10万コインの運用
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> サーキュラーエコノミーのコンセプトに反する事業は会社としておこなわないなど、SDGsの取り組みについて従業員や企画パートナーに徹底して周知。該当する活動がある場合には社内企画会議で改善案を提言することを実施。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				